明野通信

（題字：日野伸一校長 筆）

第 129 号
2020年２月20日
大分市大字牧1666
TEL（097）552-6075
http://www.oita-ct.ac.jp/

大分工業高等専門学校広報

令和元年度「学生会・体育局・文化局クラブリーダー研修」　令和２年1月24日（金）・25日（土）

目　　次

巻頭言〔校長〕…… 2
主事室便り…… 3
卒業おめでとう…… 4
専攻科修了おめでとう…… 8
退職者挨拶…… 9
機械工学科通信 …… 10
電気電子工学科通信…… 11
情報工学科通信…… 12
都市･環境工学科通信 …… 13
専攻科通信 …… 14
各種報告…… 15
学生会便り …… 16
寮生会便り…… 18
留学生通信 …… 19
卒業生の進路…… 20

巻頭言　世のため、人のために尽くすことが自らの幸せに

校長 日野 伸一

令和になって初めての正月を迎え、今春には令和初の本科卒業生ならびに専攻科修了生が新たな旅立ちをします。新卒業生ならびに修了生の皆さん、まことにおめでとうございます。皆さんの新たな門出を心よりお祝い申し上げます。

昨年を振りかえりますと、何といっても国内最大のニュースは、平成から令和への元号改元・新天皇即位でしょう。また、台風19号による豪雨災害をはじめ、全国的に甚大な自然災害が昨年も頻発し、多数の尊い人命や財産が奪われてしまいました。そのような暗いニュースの中で、地元大分をはじめ、日本国中、ラグビーワールドカップの開催はみんなを元気づけてくれた明るいニュースでした。「４年に一度じゃない。、一生に一度だ。－ONCE IN A LIFETIME－」というキャッチコピー。そして、更に輪をかけたのが、ベスト８という日本チームの大活躍と共に、「ONE TEAM（ワン チーム）」という2019年の流行語大賞にまでなった、チームワークの良さが日本国中に感動を与えてくれました。また、大会の期間中、大分では、日韓関係の悪化から韓国からの観光客が大幅に減少する中、欧米、環太平洋諸国からの来訪者が前年比を大幅に上回り、大きな経済効果をもたらしました。道路の交通規制など、大分市をあげてのスムーズな大会運営に対する協力体制の下、大分駅前の祝祭の広場やファンゾーンでの観戦やイベントの賑わいなど、大分市民としてほんとうに元気をもらったような気がします。一過性ではなく、このような市民と産官学の各組織が一体となって地元、大分を活性化させる活動を継続していくことの意義をあらためて強く感じました。

さて、やや私的な思いも含め、私にとって昨年の驚愕した悲しいニュースは、12月４日、アフガニスタン東部を車で移動中に銃撃されて死亡したペシャワール会現地代表の中村哲医師の死でした。中村医師は、1973年に九州大学医学部を卒業後、パキスタンの州都ペシャワールに渡り、以降30有余年にわたってハンセン病を中心とした医療活動に従事しながら、一方で、自ら先頭に立って、灌漑用用水路を建設し、現在までに、総計15,000ヘクタールの干ばつで荒廃化した農地を回復し、延べ50万人を超える難民を救済して平和を取り戻したと言われています。その功績によって、2003年、アジアのノーベル賞といわれるマグサイサイ賞をはじめ、数々の受賞をしています。中村医師の「飢えと渇きは薬では治せない！」の名言は、同氏のアフガニスタンでの活動の原点と言えるものです。

私が特に注目するのは、同氏の用水路建設に際し、鉄筋やコンクリートという近代工法を用いず、金網の中に石を詰め込んだ石積み技術である「蛇籠工」や、石積み護岸の土手に柳を植樹し、やがて柳枝が石と石の間に伸長して石積みを安定化させる「柳枝工」といわれる日本の伝統的土木技術を用いて工事を実施したことです。その最大の理由は、用水路がいずれ洪水等によって決壊した際に、その修復を現地住民らが自ら技術的、財政的に可能な修復できる工法として最適だと判断したことです。まさに、現状分析の適切さ、洞察力の深さに唯々敬服する次第です。必ずや近い将来、わが国の民間人として第１号のノーベル平和賞受賞者となるであろうと期待していた尊敬すべき方でしたので、同氏の死はほんとうに残念で仕方ありません。

ところで、前述の中村医師のボランティア活動と相通じるのが、わが校の足踏みミシンボランティア活動ではないでしょうか。国内の古く壊れて使われなくなった足踏みミシンを回収し、分解修理して東南アジア諸国の貧困地域に寄贈し、現地の人々の生活を支援する活動を、2003年から16年間にわたって続けています。その数、合計で約300台にのぼります。電力事情が悪い所でもミシンを使えるように、そして現地の人たちが自分たちでメンテナンスできるように、現地語に翻訳した修理マニュアルを作成したり、学生たちが、自ら現地に足を運んでの技術指導などを継続していることに深く敬意を表します。同時に、本校の教育理念である「人間性に溢れ国際感覚を備えた技術者の育成」というミッションが、日頃のミシンボランティア活動にしっかりと根づいていることを嬉しく思う次第です。

前号でも述べましたが、今やさまざまな場面で、SDGs（持続可能な開発目標）という表現を見聞きすることがあると思います。2015年の国連サミットで、誰一人取り残されない持続可能な多様性と包摂性のある社会づくりのため、2030年を年限とする17の国際目標とその下に169のターゲットが設定されています。貧困、飢餓から始まり、教育、エネルギー、イノベーション、気候変動、海洋・陸上資源、平和など、国際社会の中であらゆる組織や個人において、それぞれが実現に向け取り組むべき指標として提唱されています。近い将来、社会の担い手となる本校の新卒業生・修了生はじめ学生諸君も、自らの生きる道標として参考にされては如何でしょうか。

主事室便り

卒業、修了、おめでとう

教務主事
高橋　　徹

本科卒業生、専攻科修了生のみなさん、ご卒業、専攻科修了おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。保護者の皆様におかれましてもさぞお慶びのことと存じます。謹んでお祝いを申し上げます。

卒業、修了に至るには、みなさん自身の日々の学習努力、健康管理が欠かせません。その継続的な努力の成果を敬意をもって讃えたいと思います。また、この成果は保護者の方々をはじめ様々の方々に支えていただいた結果でもあります。感謝の気持ちを是非持って頂きたいと思います。在学中に得た友や本、行事やクラブで打ち込んだ思い出などたくさんの宝ものをどうか大切にされて下さい。

さて、みなさんが入学してから５年あるいは７年以上が経過しましたが、この間にも社会は大きな変化をとげています。ICTやAI技術の向上と社会への浸透、ロボティクスや衛星利用技術、医療技術の進歩など科学技術のめざましい発展が進んでいます。また、インターネットセキュリティやエネルギー問題など世界的に解決が望まれる事案も多々生じています。

このような社会にみなさんは船出をします。船出に際し、ひとりひとりにとって大切にしていくことは何かを考えてみるのも良いかも知れません。自分の知らないことを旺盛に吸収し、多面的に考え、芯を保ちつつも時代の進展に対応していく逞しい力を持って頂ければと願います。

本校は、科学と工学をしっかり学び技術でわくわくできる力を身につけて技術の力で社会に役立つ技術者を育成することをめざして来ました。

卒業後、修了後も学び続けることを忘れることなく、本校の掲げる技術と教養と愛の精神を持った技術者として、いきいきと輝かれますように、そしてみなさんの未来に幸多きことを心から願っています。卒業、修了、おめでとう！

卒業、修了、おめでとう

学生主事
川内谷　一志

卒業生、修了生の皆さん、卒業、修了、誠におめでとうございます。君たちはこの５年間、７年間、様々なことを学び、常に前に、前にと「前進」してきたと思います。これからはそれぞれの分野でエキスパートとなってゆく君たちは、大分高専という「ブランド」を背負って「社会」という厳しい世界で戦っていきます。これからの人生も、新しいことにチャレンジすることを恐れず「前進」する人生を歩んで下さい。またこれからは益々グローバルな人材が求められると思います。日本だけでなく世界に目を向けて、世界でリーダーシップをとれるよう頑張ってください。

今年度の後期の行事を振り返ると10月17日に体育祭がありました。雨で時間短縮になりましたが、機械科が見事20連覇を達成しました。10月13日には別府で九州沖縄地区のロボコン大会があり、優勝はできませんでしたが、見事２年ぶりの全国大会の切符を手にすることが出来ました。全国大会では頂点には届きませんでしたが来年に期待します。10月26日に高専祭がありました。晴天に恵まれ2500人以上の来場者があり、また体育館での新企画もあり例年以上に盛り上がりました。11月３日には本校体育館で第53回音楽祭があり、吹奏楽部と軽音楽部の素晴らしい演奏がありました。

令和最初の卒業生、修了生の皆さん、皆さんが飛び込んで行く社会は本当に厳しいところです。どんなことがあっても絶対に負けないで前を向いて進んでください。新しい人生をスタートする皆さんのこれからのご活躍を期待いたします。

皆さん、笑って卒寮です

寮務主事
小西　忠司

皆様の卒業・修了に心からお祝いを申し上げます。昨年の寮祭のエンディングで、卒業生が肩を並べて合唱した「旅立ちの日に」に万感の思いを感じた。指揮者は、私が寮務主事として赴任した早々に足の怪我で２寮３階から１階に移動してもらった前寮長で、卒業前に停寮となったが、同級生の自宅を渡り歩き乗り切った強者である。合唱に合わせてスクリーンに流れる後輩へのメッセージには、「１年生で入学してから５年間、毎日が修学旅行を続けている気分」と書いてあった。さらに、スクリーン上には、「ラジオ体操、先輩に怒られた事、後輩をもった気持ち、寝ぼけ眼の朝食、急いで駆け込む昼食、友と語らう夕食、部活後の汚い体を洗った風呂、ダッシュで間に合った点呼」の文字が続く。友と過ごしてきた何気ない日常生活が、寮生にとって掛け替えのない修学旅行の思い出なのである。

今年、相も変わらず明野寮には様々な困難があったが、寮生会や主事補、学生生活係、指導員の方々の笑顔からやる気をもらってきた。寮内バレーボール大会では、寮務主事室・バレー部OB合同チームで出場して準決勝まで勝ち進んだ。私の肩に強烈なサーブを当てた女子が、試合後に「これで先生と親しくなった」と笑った。スパーク魂の森祐作さんの寮内講演後に、寮管前で森さんを笑顔で見送った。オープンキャンパスのボランティア寮生にご褒美をせがまれて苦笑い、その後に笑顔で約束の食事をした。４月の新任教職員歓迎会で、ショートコント「寮務紹介三連発：朝巡回、点呼、ポイント制」を寮務主事室と有志で行い、「寮生の中野君キャラ」に笑顔がこぼれた。

卒業生が、私達に託したメッセージ「これからも明野寮のどうしようもない悪ガキをよろしくお願いします。」を教職員の皆様に託します。

長い間、本当にお世話になりました。有難うございました。シャローム^^

卒業おめでとう！「ここからが本番」

機械工学科
５M担任　坂本　裕紀

出会いは君たちが２年の時からで、機械製図Ⅱの授業が最初でしたね。ややこしくて面倒な図面を一生懸命描いていた君たちと、まさかこうして最後の5年という大事な年で関わることになろうとは思ってもいませんでした。急遽として担任を務めることになったわけですが、印象としては随分と楽だったというか、これも１、２年を軽部先生が、そして３、４年を山本先生が、しっかり指導して下さったおかげだと思います。私よりもむしろ、軽部先生と山本先生に感謝しましょう。就職指導も、いくらかヒヤッとした場面はありましたが、大きな問題も無く終えることが出来ました。君たちが今こうして社会人としてのスタートラインに立てたことに対してホッと胸を撫で下ろすと同時に、一抹の寂しさも感じるばかり。共に過ごした中で、とにかく皆が協力的であったことが一番の助けになったかと思います。高専祭では、私の娘も披露することが出来て良かったです。育児関係で学校を休むことが多くてごめんなさい。

ありがたかったこととしては、少なくとも私が関わった学生の中に大きな問題を起こす者がいなかったことですね。誰もが良い個性を持っていたと言い張れます。２、３年の頃に私が抱いた印象は、「何だか面白いクラス」……あらゆる手段でもって受けを狙う学生が、クラスの雰囲気を明るくしてくれました。それは体育祭等での表彰式でも顕著に表れたかと思います。まぁ、K君のことですね。

球技大会でも高専祭でも、そして体育祭でも、君たちはとても活躍してくれました。積極的に競技に参加し、一生懸命に後輩達を鼓舞し、誰もが声を掛け合って、球技大会で良い成績を残せましたし、体育祭では予想外にヒヤヒヤする展開でしたが、終わってみれば毎年恒例の総合優勝を勝ち取ることが出来ました。

やはり、機械科というのはこうでないといけませんね。

君たちが獲得した何枚もの表彰状は、担任の私にとっても嬉しいものですし、誇りです。君たちの担任で本当に良かったと、そう思うばかりです。

同時に、君たちにとって、私が担任でいてどうだったでしょうか？　学業における成績だけは、どうしても向上することが出来なかった人もいます。また、単位の取得についてうまくサポートしてやれたかどうか……それ以外では、勿論君たち一人一人に、色んな想いがあることでしょう。

もう色んな先生から言われていることだと思いますが、卒業がゴールではありません。何人かは、まだ専攻科生として学校に残りますが、その者らを含めても、これからが本番です。私を含め他の先生たちも、そんな君たちをスタートラインまで誘導してきただけです。だからこそ、これから一生懸命に駆け出して下さい。そして、幸せになって下さい。その中で、時たま私が居たことを思い出してくれると嬉しいです。立派な社会人として私の研究室に遊びに来てくれることを楽しみにしています！

球技大会

Congratulations on your graduation!

電気電子工学科
５E担任　田中　大輔

皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様にも心よりお喜び申し上げます。

大分高専での学生生活はどうでしたか？思い出深い高専生活は送れましたか？これから社会に出る人、進学する人、高専で自分を高める人、と進路はさまざまですが、それぞれに精進してください！人生において、高専卒業は通過点です。この先、しんどいこと、悲しいこと、理不尽な状況を投げ出したくなることもあるでしょう。自分の甘さを痛感することも、恥ずかしい思いをすることも多々あるでしょう。でもまぁ、人生はそんなもので、当たり前とも言えます。自分だけでなく誰もがそうだと思って、周りに頼りながら迷惑かけながらも乗り越えるしかないんです。進学する人たちもいつかは社会に出ます。何かあった時に「人生はそんなもの」だと思ってください。一人で乗り越えられない時は高専で出会った仲間に相談するも良し、家族や恋人に相談するも良し、もちろん先生に相談するも良し、会社の同期や先輩に相談するも良し。頼り頼られながら成長を続けてください。社会で君たちが大いに活躍してくれることを願っています。そのための基礎（知識、技術、コミュニケーションスキル、プレゼン能力、などなど）は身についていますが、慢心せずに謙虚に、そして大分高専の卒業生としての誇りをもってください。最後に・・・本当に卒業、おめでとう!!

5Eからのメッセージ

浅見　響平：５EのことはZOCと同じくらい大好きです！
足立　裕基：５年間ありがとう。澤がお世話になりました！
阿部　聖成：５年間お疲れ様でした
池田　一史：今後ともご最厚のほどお願い致します。
江藤　聡平：404 - Not Found
大下　昂亮：５年間楽しかったです
大津　陽：卒業おめでとう(建前)
大塚　裕也：この5年間でわかったことは､電気電子はelectronicsということです。
沖田　春樹：もう卒業か、ぴえん
小畑　鷹：五年間ありがとう！マンダは初手竜舞や！
川野　裕大：卒業おめでとう！このクラスで良かった！
後藤　拓海：……長い間!!!くそお世話になりました!!!
坂本　泰都：５年間ありがとうございました。
目　南斗：来る学校を間違えましたが、いい仲間といい就職先に出会えました
佐藤　了大：僕は専攻科でがんばるので、みんなもがんばって下さい。
首藤　皆人：あれっ。卒業おめでとう。うんっ♪
高野　聡：体重25kg減のダイエットに成功しました
友清　伊織：５年間で卒業ってすごいとおもいます
長田亜希飛：卒業おめでとうございます
中根　由敦：釣りが好きな貴方はグローブライドへ
中野　航輔：じゅうじゅう亭は絶対一回いった方がいい！ごちそうさまでした。(30文字)
日垣　輝大：オリジナルカクテル完成しました！名前募集中です！
廣瀬　文哉：今後、思い出し笑いのネタに困ることは無いです。感謝。
深澤　稜人：５年間みんなありがとう♪♪♪
深津　美希：５年間ありがとうございました。
藤村　青弥：Linuxも案外悪くないよ。
丸山　晃世：高専でよかった。ありがとうございました！
三浦　拓真：部活たのしかった！
溝部　拓実：５年間ありがとな！
宮成　秀輔：自動車免許はどっかで取っとくといいゾ
山田　海登：田中大輔クラスおーえっい！
渡邊　航平：電気回路Ⅱが一番好きでした。

５E　球技大会

４E　研修旅行

新しいステージへ

情報工学科
５S担任　徳尾　健司

田中美穂先生から引き継いで、３年生から３年間、担任をしました。同じクラスを３年も持ったのは初めてのことです。まだ制服を着ていた３年生。インターンシップと研修旅行、そして進路選択に追われた４年生。メンタルを削りながら、就職活動と受験に挑んだ５年生。私にとっては長いようで短い、あっという間の出来事でした。

皆さんは４月からそれぞれに、新しいステージに進みます。一つ心残りに思うのは、本校の学習・教育目標の一つである「愛の精神」を、きちんと伝えることができなかったのではないかという点です。到達目標には、「いつくしみの心を持ち、相手の立場に立って考えることができる」と書かれています。皆さんが論理的に考え、合理的に行動できるのは素晴らしいことです。これからは、もっと人の気持ちに配慮し、周囲と協調して行動できるように、卒業後も努力を続けてほしいと思います。

相澤美悠：５年間ありがとう！　**安部圭哉**：五年間って一瞬じゃないですか？僕はそう思いませんけど　**壹岐琉晟**：初めまして、これから二年間よろしくお願いします‹(_ _)›←顔文字使ってるから、改行で崩れてるかも‹(_ _)›　**稲積駿**：おれは高専をでていくぞ！ ジョジョ――ッ!!　**井上晴天**：E38186[Censored]E38193E381A1[Censored][Censored]E38293EFBC81　**井上響生**：ありがとうございました　**植野優磨**：進級させたいなら、教授どもを召喚したり、再試を割り振って単位を取得する必要はない。代わりに、彼らに広大で無限な留年の存在を説けばいい。by植野　**江藤颯真**：「江藤颯真:「江藤颯真:「江藤颯真:ギリギリの５年間楽しかったです！」」」　**大江祐樹**：私は提出期限を守ることができませんでした（これはテンプレートメッセージです）　**岡本美柚**：５年前はPCも全然使えなかったなんて考えるだけで恐ろしい…　**小澤菜月**：あっという間でした。５年間楽しかったです！　**小野航**：そつけんたいへんでした　**小畑俊輔**：小畑俊輔のコメント　**河野稜斗**：なんやかんやで５年間楽しかったです！ 감사합니다!!　**栗山寛隆**：出会いに感謝、みんなに感謝、来年の5Sにも感謝。よろしくね！　**坂口冴太郎**：‹p›‹span style="color:#FFFFFF; text-shadow: 2px 2px 4px #000000"›テスト‹/span›‹/p›　**相良駿昇**：情報工学が俺を生んだんだ…俺という名の"モンスター"をな！　**佐藤凌誠**：抄録は出したほうがいい　**鳶末昌雄**：詰みゲーみたいな高専に住んでる無能はどうすりゃいいですか？２　**染矢大翔**：事前情報よりは良いクラスでした♡　**武田壮平**：回避×回避×回避˝ドキドキっ！再試追認との共同生活˝　**津野友樹**：我在高専五年間学情報工学　**中津留ひなた**：やばい　**中元皓太**：高校生、大学生の歳になれば自然と彼女ができるものだと思っていました　**濱田裕太**：私は提出期限を守れませんでした（ｎ回目）　**飛田伊織**：クラスメンバーとは仲良くしておこう　**藤田侑子**：私は期限を守ることができました（これはテンプレートメッセージです）　**藤渕はな**：５年間もお世話になりました！謝辞に書きます！　**藤原円央**：F=ma　**本田梨香子**：私は提出期限を守りました（このコメントは手動です）　**三嶋祐輝**：大分に帰ってきたら飲みに連れてってください！あゆあなたのことを愛しています。今までもこれからも　**南椋斗**：0x3436 0x3c55!　**山下優輝**：[ここにテキストを入力]　**山本雅人**：ようやくシャバの空気が吸えるので感無量です。　**吉海皓貴**：TOEIC905とりました　**吉浪颯**：進路が決まってよかったです　**和田直也**：スローインのボールで顔面怪我するとかそんな雑魚おりゅ？www　**渡邊柾孝**：私は提出期限を守ることができませんでした（これはテンプレートメッセージです）　**渡邊美央**：５年間ありがとうございました！

卒業おめでとう！

都市・環境工学科
５C担任　佐野　博昭

●卒業生からのメッセージ●

(阿部)高専に入って５年間、ひとつ分かったことがあります。それはおそらく僕のコメントは１番最初です。**(稲生)**iphone最高!! **(井上)**せいしろー！ありがとー！ **(植木)**なんだかんだ、楽しかったです。(笑) **(岡崎)**楽しい５年間をありがとう! **(尾崎)**スナック開きます(多分) **(小田)**５年間お疲れさまでした。 **(亀井)**おつかれさまでした **(木田)**５年間お疲れ様!このクラスで良かったー **(兒玉)**深瀬！伊東！池園！終わったよ…。 **(後藤誌)**再試が本番。コンクリート研究室最高。 **(後藤陽)**５年間あっという間なくらい楽しかったです。卒業しても飲みに行きましょう。 **(税所)**大好き！ **(佐藤拓)**佐野先生圧倒的感謝 **(佐藤展)**５年間ありがとうございました。 **(佐藤美)**５年間楽しかったよ、バイバイ **(志賀)**５年間、楽しかった!! **(重藤)**楽しい思い出ばかりの５年間でした。ありがと!! **(新宮)**またオアシスで集まろうね～ **(須賀)**５年間ありがとう! **(竹田)**５年間たのしかった! **(田中)**ありがとうございました。 **(築城)**５年間ありがとう!!とっても楽しかったです!! **(手嶋)**５年間ありがとうございました。 **(豊原)**５年あっという間!対あり! **(中屋敷)**５年間、毎日がエブリデイでした! **(秦)**小ブス最後の仕事お疲れ **(林)**みんな５年間ありがとう。#サヨナラに強くなれ **(日髙)**5年間あっという間で楽しかったです！仲良くしてくれてありがとう！ **(日名子)**みんなのおかげで楽しい時間を過ごせました、ありがとう! **(深町)**みんな最後の副委員長としての仕事手伝ってくれてありがとう。 **(穂積)**高専に入学する前はGoogleで働く人になりたいって思っていたけど、５年後の今は将来Googleで検索される人になりたいって思ってる。 **(前田)**サーフィンしてくるぜ **(御手洗)**楽しい５年間をありがとう! **(本村)**今までいろんなことがありましたが、中でもびっくりなのは３年生から４年生になる１年間に9キロ痩せたことです。５年間楽しかったです。 **(森山)**停寮２回退寮１回再試験21回再々試験２回追認試験10回、これでも卒業できた。 **(矢野)**楽しい時間をありがとう **(山本)**2015年４月６日、春のそよ風が桜を揺らしている頃期待と欲望と愛と勇気を胸に私たちはここ、大分高専に入学しました。５年が経ち卒業を前に思うことは、「寂しい」それだけです。毎日のように一緒に過ごし人生において最も熱い期間を共にしてきたこのメンバーと離れ、飛び立っていかなければならないこと、本当に寂しい気持ちでいっぱいです。天井を見上げて大笑いしたこと、膝の下に２つ目が出来たこと、前髪がパッツンになったこと、本当に数え切れないくらい腹を抱えて笑った気がします。何もかもが思い出で忘れられないものばかりです。ニコラス・スパークの言葉に「最高の愛は魂を目覚めさせる」というものがあります。私の心に火を灯し、心に平穏を与えてくれたみんなは、愛そのものでした。本当にありがとう。最後に、これからはバラバラになる私達ですが、１年に１回、５年に１回でもみんなで集まれることを心から願って終わりにしたいと思います。この先何年も、何十年も…～fin～ **(若菜)**楽しかったです、ありがとうございました！

～担任からの最後のメッセージ～

恐らくこれが最後の卒業生の受け持ちになると思います。これまで多くの卒業生を送り出してきましたが、やはり最後の卒業生となると感慨ひとしおですね。皆さん、大きく羽ばたいて下さい。そして、多くの人への感謝の気持ちをいつも忘れずにいて下さい。

5C担任としての学生諸君に贈る最後の言葉「泣きっ面をかきながらでも、自分で何かを創造しようと頑張る人生の方が、それを批判して笑って過ごすことよりもはるかにすばらしい。耐久する能力と創造する能力は表裏一体といえる。」

数学者　広中平祐、若い日本人のための12章より抜粋

～体育祭～

～球技大会～

専攻科修了おめでとう

専攻科長
嶋田　浩和

専攻科修了おめでとうございます。本科と専攻科合わせて７年間の過程を修了しいよいよ本校を社会に向かって旅立つ日になりました。慣れ親しんだ環境からはなれ、新たな生活を皆さんには、期待と不安がいり混じっていることと思います。

現在の社会環境は厳しく、いろいろ悩むこともあるでしょう。日々を穏やかに、そして活気をもって過ごすために先人は、「おいあくま」ということばを残しています。「お；おこるな」「い；いばるな」「あ:あせるな」「く;くさるな」「ま;まけるな」です。あくまとは自分への戒めだと考えます。自分を粘り強くふりかえり、きっと自分のできることなすべきことを頑張る前向きな気持ちになれると思います。

修了の日は、新たなスタートの日です。今後新しい環境でのより一倍の飛躍を祈っています。

機械・環境システム工学専攻主任
軽部　　周

専攻科修了おめでとうございます。本科入学から７年間、小学校より長い年月を大分高専で過ごしたことになりますね。皆さんの高専生活はどうだったでしょうか？

これからの社会は激動の時代です。日本は少子高齢化、グローバル化が加速し、これまでの常識が通用しない世の中になっていきます。この７年間をみても、企業の方向性は様変わりし、日本の土地も海外資本にどんどん買収されているのが現状です。

社会に出た後、皆さんの武器となるのは「情報」と「バイタリティ」だと私は思います。視野を広く持ち、社会で何が起きているのかに興味を持つこと。自らのアイデアと活力で、人生を楽しく生き抜く気力を維持すること。社会情勢を知り、自分で考えながら行動できれば無敵だと思います。皆さんの今後の活躍を願っております。

電気電子情報工学専攻主任
本田　久平

専攻科修了おめでとうございます！

専攻科の２年間は、本科の５年間と比べると、時間が過ぎるのが早く感じられたのではないでしょうか。プロジェクト実験、本科とは違った分野に関する授業、特別研究、企業の就職試験、大学院試験、学位授与申請など、結構忙しく慌ただしく２年間が過ぎます。特に、学位授与申請のための書類作りや手続きは慣れないこともあり大変だったのではないかと思います。

このクラスは、皆と明るく何でも言い合って仲良くできていたかと思います。私が出欠確認や用事で教室に行くといつも温かく迎えてくれ、担任としては感謝しています。この４月からも、それぞれの進路先で他人とコミュニケーションを取りながら明るく頑張っていって欲しいと思います。

皆さんの活躍を期待しています。

特別研究テーマ　一覧

【機械・環境システム工学専攻（MC）】

○赤嶺大「円周切欠きを有するSCM435 切削摩擦加工試験片の引張圧縮疲労強度」 **○秋月智也**「製鋼スラグの膨張と炭酸化を積極的に促進させるための大気エージング処理法に関する研究」 **○麻生大樹**「飽和・不飽和地盤での塩分の物質移動に関する研究」 **○岩田隆正**「粒径の変化による多孔質チタンの製作と評価に関する研究（傾斜埋入を想定した評価方法の確立）」 **○加藤大雅**「S45C切削摩擦加工材のねじり疲労特性」 **○河野祐斗**「極低落差水力発電用のダリウス水車の性能向上に関する研究」 **○河野李奈**「廃石膏ボード由来の再生石膏および再生石膏安定処理土の含水比測定法に関する研究」 **○佐藤諒弥**「歯科インプラントに用いる多孔質チタン複合材料の製作と評価に関する研究」 **○高野陽平**「自転車専用レーン走行時における自転車利用者の走行自動車に対する危険感知度調査」 **○戸田健太**「平板先端形状が境界層の形成過程に与える影響の実験と解析による比較」 **○友成巧**「気液二相ポンプでのオリフィスによる性能比較」 **○長岡拓哉**「強制摩擦振動系に微小高調波が与える影響」 **○藤原怜司**「フライアッシュと高炉スラグ微粉末を併用するジオポリマーの吸水膨張特性」 **○本田信也**「フライアッシュと高炉スラグ微粉末併用系ジオポリマーの塩化物イオン浸透性」 **○吉田淳一郎**「バナジウム系合金水素分離膜デバイスにおける応力解析と構造設計」 **○米光佑太**「大野川における硝酸性窒素流加負荷量に及ぼす水田の役割」

【電気電子情報工学専攻（ES）】

○井上敦暉「NIRSを用いた前額部脳血流動態によるリアルタイム集中度計測」 **○小野源太**「筋疲労を考慮した運動単位発火モデルの検討」 **○小幡昭平**「交流電場印加と生成リゾチーム結晶の関係」 **○工藤拓歩**「MASを用いた小規模コミュニティの電力消費量予測に関する研究」 **○佐藤賢太朗**「幾何学的制約ソルバを用いたリダイレクテッドウォーキングにおける歩行経路の導出」 **○佐藤貴一**「グラフ構造を用いた機械学習によるHOLの自動証明に関する研究」 **○戸田葵**「sEMGによる食事動作の解析」 **○中尾優太**「複数枚の劣化観測像からのゼロショートを用いた像回復」 **○中岡黎**「深層学習を用いた多チャンネル地中レーダー画像の物体識別」 **○野尻大貴**「ファジィニューラルネットワークを用いた動画像中のオブジェクトの分類」 **○廣田憲幹**「グレブナー基底を用いたナーススケジューリング問題の解法における求解時間の短縮」 **○渡邊優樹**「形式仕様記述言語AlloyからのC#コード生成」

退職者挨拶

一般科　理系
佐藤　達郎

高校の教員として８年間、高専の教員として33年間､計41年間の教員生活も今年度末をもって一区切りをつけることとなりました。教員一筋といえば聞こえもいいのですが、他の職種の経験のない世間知らずの身で皆さんに接してきたことを考えると忸怩たる思いです。クラス担任や授業担当、クラブ顧問として関わってきた学生に改めてお詫びを申し上げたいと思います。

大学卒業と同時に高校教員となったのですが、数学をもう少し勉強したいとの思いから高専に移って来ました。学位を取得できたことで目標の一部は達成できたかなと思います。数学を研究すること、数学を授業で講義することで充実した時間を過ごさせていただいたことに深く感謝いたします。クラブ顧問としても素晴らしい時間を過ごさせていただきました。41年間バレーボール一筋でした。高専では、全国大会に４度出場できたこともうれしい思い出です。また、４年前の高体連県新人戦で３位入賞を果たせたことは生涯の思い出になると思います。部員が少なく辛い時期もありましたが、顧問を続けてきてよかったと思います。

今の時代、常に「夢と希望」を持って生きることは難しいことかもしれません。だからこそ皆さんにはそれにチャレンジしてもらいたいと思います。

大分高専の校是「愛はすべてに打ち勝つ」は永遠に不滅です。大分高専発のエンジニアとして心の拠り所としてください。そして、最後に、Be a Gentleman, Be a Lady」。長い間、本当にありがとうございました。

一般科文系
堀　栄造

平成２年４月に本校へ赴任して以来、ちょうど30年が経過しました。したがって、私の勤務期間は、平成の時代に重なります。

赴任当時は、現在の情報工学科の前身である制御情報工学科が設置されたばかりで、現在の都市・環境工学科も、前身の土木工学科でした。５年生の哲学概説や２年生の倫理や１年生の現代社会および政治・経済の授業を担当し、四学科の全学生に接していました。そうこうしているうちに、平成15年には専攻科が設置され、専攻科２年生の哲学特論Ⅰ・Ⅱも担当するようになりました。本校の学生は、概ね素直で利発であり、ややハイレベルの授業内容を質疑応答のキャッチボール形式で相互に楽しむことができたと思います。私の研究の専門は、20世紀を代表するドイツの哲学者フッサール(1859～1938)で、現象学という哲学を創唱し、ハイデガーやサルトルやヤスパースといった名だたる弟子達を育てました。その研究が十二分にできたことは、幸せだったと思います。退職後は、長年の研究が幸運にも新資料に基づいて熟成し佳境に入ってきたので、その仕上げに専念するつもりです。本校での教育・研究を恙なく終えられます事を皆様方に感謝申し上げますとともに、本校が新時代に適合しながら益々発展を遂げられます事を祈念致します。

一般科文系
藤原　宏司

大分高専に着任して、早くも28年が過ぎようとしています。着任当時はＳ科ができて４年目でしたが、普通科高校から高専へ移ってきたという理由で、翌年から３年間女子学生が21名のクラス担任を務めました。大分高専の歴史において、女子の数が男子を上回ったのは、このクラスだけです。

入学当初１Ｓの教室には、毎日大勢の先輩男子学生が「見学」に現れ、女子たちに声をかける者までいました。

彼女たちを守るために彼らを追い払う事が私の日課でした。高専とは何と大らかな学校だろうと、感心したことを覚えています。普通科高校では、大学受験の準備のために、そんな「余裕」は無かったように思います。生徒だけでなく先生たちも、大学受験に追われている状態でした。

私の担当する英語も、受験英語から離れ、英会話・実用英語・文学作品などの、多様なものを自由に扱い楽しく授業をさせて頂きました。よく授業中に学生のリクエストに応えて、教科書から外れました。「シラバス」なんて聞いたこともない時代でした。しかし学生たちも教員も、生き生きとしていた時代でした。

あれから時は流れ、社会や時代の要求がある度に「改革」が行われました。全てが準備された完璧な教育、それを証明するエビデンス作成のため委員会や会議が倍増していないでしょうか。学生たちと触れ合うべき時間が削られパソコンに係る時間が急増したと感じるのは、私だけでしょうか。私の大好きな大分高専のために、あえて苦言を述べさせて頂きました。お許し下さい。

大変お世話になりました。

総務課
石橋　孝利

今年度定年を迎えるということは重々承知していたのですが、今年度になって新たな業務を担当することとなり、また、７年に一度の業務も重なったことから、いろいろ考えることもなくずっと充実した日々を送っておりました。先日、この明野通信の退職者挨拶の原稿依頼があり、翌日には60歳の誕生日を迎えたこともあり、やっと定年を実感したところです。

昭和53年４月に大分高専の事務職員に採用していただき、大分大学への勤務６年を含めて、42年間勤めて参りました。

その間、たった３年間だけですが、学生課の仕事に従事し、学生とも接する機会が多く、大変でしたが定年を数年後に迎えるという時期にやっと学校で働いているという充実感を覚えました。もう少し早く経験しておけば良かったと思ったところです。

以前、苦しんだ腰や膝、足底の痛みも体重を減らしたせいか現在はすっかりなくなり、気力も充分でまだまだ働きたいと思っており、定年後も再雇用という形でお世話になることとなりました。

今まで、チャレンジのつもりで新しい仕事に従事したりして失敗もたくさんありましたが、まだまだチェレンジを続けたいと思っております。

42年間勤めることができましたのも皆様のお陰です。心から感謝申しあげます。ありがとうございました。

機械工学科　学科通信

時代の変化を感じて

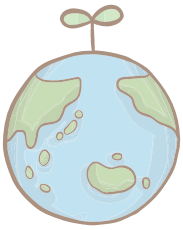
機械工学科長　菊川　裕規

卒業生のみなさん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

振り返れば、中学校を卒業してから５年間あっという間だったことと思います。20歳の立派な青年となり卒業してゆく姿に、頼もしさを感じます。卒業後は就職する人、進学する人、それぞれの道を歩むことになりますが、この学び舎で学んだことは、きっとみなさんの人生を豊かにしてくれることと信じています。

今、世界は大きく動いています。これまでの常識が通用しないようなことが数多く起こっています。日本ではSociety 5.0と称して、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に次ぐ第５の新たな産業革命の時代だと言われています。IoT、人工知能、ロボット、ビッグデータなどを活用してサイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合した新たな産業を確立しようとしています。国連は世界の課題解決という観点から、持続可能な開発目標（SDGs）を提唱しています。17のゴール、169のターゲットを定めて、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

機械工学を学んだみなさんには、専門分野の知識や技術を活用するだけでなく、常に新しい時代の変化を敏感に感じて、新しいことに自らチャレンジし続けてほしいと願っています。「工業日本興隆の柱とならんのぞみもて」と校歌に歌われていますが、これからも日本が工業立国として世界をリードし続けるためには、みなさんのような若い人の活躍が欠かせません。是非とも日本をそして世界をリードする人材となって下さい。大分高専の卒業生が世界中で活躍することを願っています。



「成長」

１Ｍ担任　稲垣　歩

１年間、朝のSHRで様々な話をしましたが楽しんでいただけましたか？

朝イチは楽しくしよう、遅刻を後悔したくなる話をしよう、という思いが１つ。入学時に話をした、高専生活の目的は「成長すること」であり社会で活躍できる人間になるための本質や要点を「見る力」と要約や最後までやる「詰める力」を身につけることにつながれば、という思いが１つ。この２つの思いを基に様々な話をしました。この文章を目にした時、皆さんが「成長したなぁ」と感じてもらえる１年間を過ごせていたなら幸いです。

最近関心のある脳科学では、人間の記憶は曖昧であるとされています。朝の話にも不確かな内容が含まれているかもしれません。見聞きした内容を鵜呑みにするのではなく、興味ある内容を調べ自分自身で判断することも「見る力」「詰める力」だと思います。

高専生活はまだ４年間あります。今後も様々なことに挑戦し、より一層成長することを願っています。

２Ｍ大活躍！

2M担任　大庭　恵一

1Mから引き続き2Mも担当し、２年間このクラスのみんなを見てきました。２年生になり、一段と団結力が高まり、球技大会や体育祭などの体育行事でその力を見せてくれました。体育祭では、２年生ながら総合３位と、体育教員である担任として誇らしいかぎりでした。2020年はオリンピックイヤーですので、ぜひ金メダル目指してほしいです。

2Mの快進撃は続き、続く高専祭では2Mの出店した「くじ引き」が担任の不安をよそに大盛況、おまけに「装飾賞」までいただきました。

イベントには強い2Mですが、後期に入っても多くのスマホが没収され、定期テストの成績一覧表はいつ見ても赤く染まったままです。学年末テストでは各種イベントで見せた2Mの底力を発揮して、一気に反転してくれることを期待しています。

斜に構える、流される、カッコつける

3M担任　久保山 力也

ソ連とてっきり戦うものだと思い込んで、山にこもってどんぐり収集に明け暮れた小学生時代。周囲の人に決戦のためどうしても必要だからと、どんぐりを配布していた。現代ならカウンセリングとか受けさせられそうだが、あの頃は純粋だったなぁと思う。30数年後にまさかウズベキスタン（旧ソ連）の大学で教鞭をとるなど想像もしなかったが、世界は思いのほか近い。

古代でも、オシャレにマンモス倒す目立ちたがり屋いたであろうし、雨乞いの儀式を「んな、馬鹿な！」と疑っていた奴いたに違いない。そんな私の行動原理は、斜に構える、流される、カッコつける。弁証法的には隠キャを追究してコペルニクス的転回が起きれば世界は回るはず。無理して生きていくのはもったいないので、人生500年くらいの気持ちで優雅にファイト。

あ、でも多分高専は卒業した方がいいです。

決　断

4M担任　薬師寺 輝敏

4月から担任となって、楽しく過ごさせてもらいました。球技大会や体育祭での4Mの活躍は目を見張るものがありました。高専祭では600食もの唐揚げを1時前には売り切るなど手際の良さも光りました。こんなクラスですから、一人も欠けることなく全員で卒業したいものです。

さて、進路を決める時期がすぐにやってきます。できるかぎりの情報を集めて、進路を決めてください。選択肢は多いのでこれでよいのか悩む場面があると思いますが、ここは決断が必要です。人生の伴侶を決める時と同じです。決めたら本当に好きになることが大切です。選ぶ過程がどうであれ、面接に臨む時には心から入社を希望する状況までマインドを高めて行くことが、合格の秘訣です。

電気電子工学科　学科通信

積極性とコミュニケーション

電気電子工学科長　清武　博文

卒業する皆さん、おめでとうございます。15歳からの高専生活は如何でしたか？体と心と魂を鍛えることはできたでしょうか？専門性が大きく増した電気電子工学の修得も大変だったでしょうが、工学実験ⅢでのPICを用いた設計製作、デザイン実習に加え、集大成となる卒業研究には各自打ち込んだことでしょう。さらに、進路の決定と採用試験・編入学試験も乗り越えましたね。振り返ると、そんなに大した事はやってないと感じていた時期もあったのかもしれませんが、皆さんは様々なイベントや難関を無事通過して今があるのです。それぞれ成功や失敗の体験があり、大きな成長があったのです。是非今一度、高専生活の思い出を振り返り、その体験と感情をじっくりと想い出してみて下さい。

在校生の皆さん、４月からは新しいクラスで学校生活が始まります。新しい感覚を持ち、感謝の気持ちで学生生活を送ることが大切です。学校に行けること、勉強できること、試験や補講を受けれること、運動できること、すべてにおいて感謝の気持ちを持って、積極的に取り組んでください。

皆さんにも、いつか就職や進学に際して、面接があります。そこではそれぞれに培った能力や得られた多くの体験を人間対人間で問われることになります。その中でも、自ら考えながら動く積極性とコミュニケーション能力は大きな武器となります。学生である期間に、この2つを鍛えましょう。学生時代は時間に恵まれている有り難い時代です。社会人になると痛感します。どうか、生活のリズムを整えつつ、勉強に、運動に、趣味に、仲間を巻き込んでおおいに楽しんで取り組みましょう。

成年（オトナ）？

1E 担任　佐藤　秀則

2022年４月１日から法的な「成年（オトナ）」の定義が変わる。「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられる。現１年生の殆どにとっては過渡期にあたり、18歳の誕生日を迎えてもオトナにはなれないが、その次にやってくる４月１日には揃ってオトナになる。

オトナになると、それまでの保護や干渉の箍（タガ）が外れ自由になる。対して生きていくためには、人間という他者との関係性を築くと共に、働くという労や、若気の至りという失敗の危険性も伴う。今は準備期間。

世の中は喧噪だ。原始より生きていくためには他者を犠牲にすることもあった。反面現在では、人は一人では生きていけない。助けられることもあれば助けることだってある。

「オトナに入れてやる」は厚かましい。決めた現在のオトナの事情があってのことなんだけれど、「この世の中を一緒に担ってくれないか」。

「タフでなければ生きていけない。優しくなければ生きる資格がない」が、オトナってものかな？

続・コミュニケーション力

2E 担任　辻　　繁樹

前回は、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」の４つの能力をアップさせ、正確かつ素早く「情報」の入出力を行おう！という話でした。加えて、人は勉強に限らず物事に取り組む際には、まず「知る」から始め、次に「理解する」、「思考する」と続き、最後に「実行する」という話もしました。「知る」においては、文章や言葉で表現された「情報」を的確に理解することはもちろん大事ですが、自分の考えの形成に活かせる、つまり「理解する」、「思考する」に繋がなるようにすることがとても大事です。また、「実行する」においては、実際に行動してみる事が大事ですが、情報を出力することも大事です。他者に物事を説明したり、自身の考えをレポートや言葉で表現したりすることで理解が深まった経験はみなさんあるはずです。情報を出力することは、相手のためだけでなく、自分を成長させるためにもとても大事であり、入力だけでは成長できません。来年度はぜひこの「出力」を意識して１年を過ごしてみましょう！

「凡事徹底」

3E 担任　福村　浩亨

クラス通信に「凡事徹底」というタイトルをつけていたのは知っていましたか。意味は“当たり前の事を徹底する”です。３Ｅ皆さんはここぞ！という時には絶大な力を発揮するクラスだと思います。しかし、そのような行き当たりばったりでは、いつか壁を乗り越えられない時がきます。勉強でもスポーツでも「基礎力」が一番大事だと私は思います。基礎力を極めるためには、毎日当たり前の事を徹底することです。これは意外に難しく、根気と力強い精神力がなければ、すぐに諦めてしまう人もいるでしょう。

もう４生になります。そろそろ将来、自分はこうなりたいという明確な目標を見つけ、その目標を達成できると信じて、諦めることなく、今やるべきことを考え、努力を積み重ね続けられる人になってください。

就職戦線に臨む

4E 担任　山口　貴之

４年も残りあとわずか、いよいよ高専生活最後の学年が迫ってきています。夏季休暇中にはインターンシップに参加した学生も多く、学校の座学では学ぶことの出来ない多くの経験を得てきたことと思います。またその経験をクラス内で共有することで、自分自身が考える「働く」ということのミスマッチを解消する一助になればと考えます。また秋季研修旅行でも普段見ることの出来ない現場を見ることにより、具体的な知見を得られたかと思います。手を抜かず準備をして、就職戦線に臨んで貰えればと思います。

進路希望調査を既に２度行っていますが、今後は具体的に、どのような優先順位で、どのような受験計画を立てるかといった必要が出てくるかと思います。間もなく現4年生向けの求人票が開示され、本格的な活動をスタートさせることになるでしょう。人生のかなり大きなウエイトを占める決断を迫られます。このとき、もっと出来る事があったのでは、と後悔しない為にも、全力で就職戦線に臨んで下さい。

情報工学科　学科通信

情報セキュリティ事業への取り組み

情報工学科長　靏　浩二

昨年末には、「2019年の10大セキュリティ事件」という記事が流れるほど、情報セキュリティは我々の身近な関心事となりました。「情報漏洩」、「不正アクセス」などの事件は、新聞でも大きく取り上げられています。本学科では、高専機構の「サイバーセキュリティ人材育成事業」に参加し、学生や社会への情報セキュリティの啓蒙活動に取り組んでいます。2019年6月には、大分県警と情報セキュリティに関する協定を締結しました。講習会を受講した学生が県警公認の『サイバーボランティア』として活動しています。中学生にSNSの使い方やインターネットの危険性を説明したり、高専のコンピュータルームで有害インターネットサイトを探索して、関係機関へ通報したりしています。

このような活動を通じて、学生が有害な情報に接することにより、悪影響があるのではと心配される方もいらっしゃるかもしれません。しかし、現実社会での危険や現状を知ることは、これからの高度ネットワーク社会で働く、彼ら彼女らにとって、必要なことと信じています。高い技術と知識を身につけて、将来、善良な情報技術者（ホワイトハッカー）になってくれればと考えています。ハッカーという言葉には、コンピュータを悪用する人という印象があります。一方、ホワイトハッカーは専門技術と倫理観を持ち、公共のために尽くす人のことです。高専では、技術や知識を身につけているだけではなく、高い人間性を持つ学生を育てていかなければと思います。

中学生を対象としたセキュリティ講習会
（佐伯市立昭和中学校）
講師：情報工学科１年　疋田さん（左）
内川さん（右）

「夢」を大いに語りましょう！

１S 担任　二宮　純子

「怠る者は不満を語り、努力する者は夢を語る」皆さんに何度となくお伝えしてきたメッセージを、あらためて明野通信で送ります。

高専の学校行事は、中学校までのものとは大きく異なり、学生の自治活動として取り組まれています。このことは１年生の皆さんにとって驚きの連続だったと思います。「学生主体で学校行事に取り組む」、耳触りは良いですが、学校の先生の指示に従って活動する方が何倍も「楽」ではないでしょうか。

特に体育祭、高専祭、音楽祭など、クラスメートと協同しながら行事を遂行するのは大変なこともあったでしょう。しかし、いずれの行事も１Sの皆さんがお互いを尊重し、より良いものにしようと協同する姿は美しく、キラキラしていました。

「来年はもっと良いものにしたい」と語る１Sの皆さんのお話をこれからもぜひ聞かせて下さい。

初心に戻ることも大事

２S 担任　プロハースカ・ズデネク

このクラスの担任を受け持ってから早くも２年目が終わりました。入学当初の緊張感がすっかり消えてしまい、学校の仕組みにも慣れてきて、先輩と後輩の新しい友達も沢山できたと思います。一言で言えば、立派な高専生になってきました。

高専に慣れてきて、多くの人に心のゆとりができたと言えますが、授業をしっかり聞く、毎日コツコツ勉強する、遅刻せずに余裕をもって登校するといった、高専生として最も基本的なことを入学当初と同じように守ることができていますでしょうか。時折、初心に戻り、何が大切か、何をすべきかを再度考えることも大事ではないかと思います。

３年に無事に進級できた人は、４月からまた新たなスタートを切ることになります。１年、２年に比べて、専門科目が増え、難易度も上がります。この２年間で学んできた基礎知識をただ覚え込むだけではなく、新しい知識を得るためにどのように活用するか、初心を忘れず、自分自身をさらに磨き、より一層成長してもらいたいと思っています。

１年を振り返って

３S 担任　北川 友美子

３年生は、５年間の高専生活の真ん中で、わけのわからない時期だったでしょうか？進路についても、はっきりとは決められない、ぼんやりとした感触を持った人が多かったかもしれません。ぼんやりとした立ち位置でも、勉強は専門科目が増えてレポートなどとても大変そうでしたね。３Sの皆さんは一生懸命努力する学生であること、私は担任として誇りに思っています。そして、何といっても以前も述べた様に、人間力の高い学生です。なんとなくだけど努力している間はその手応えがなかったかもしれませんが、４年生になり目標がはっきり定まると、これから面白いようにそれが自分に返ってくるはずですよ！そして今後も努力を続けましょう。

次の進路を考える

４S 担任　十時　優介

いよいよ、この１年（数ヶ月？）考え抜いた自分の進路について、それを実現する為にチャレンジする機会がやってきました。進路指導について未熟ですが直前のアドバイスを文章にしていきたいと思います。

１．自信を持っていきましょう

「高専の４年間何もやってこなかった」なんて声が聞こえてきますが本当ですか？些細なことかもしれませんが頑張ってきたことはあるはずです。（少なくとも苦手科目を乗り切ってここまできてますよね？）

事前準備をしっかりとして自信を持って試験・面接に臨みましょう。

２．（縁がないようなら）すぐに切り替えていきましょう

万全の状態だったにも関わらず、縁がなかった。なんて事が就職・進学にはよくあります。そういった場合、すぐに切り替えて、第２・第３希望へ狙いを変えていきましょう。案外そちらの方が思い描いていた内容の仕事や勉強ができるかもしれません。

第１希望へ向けて準備を固めていくのも重要ですが、念のために第２・第３志望についても準備を進めていきましょう。

最後に教員も保護者の皆様も全員君たちの味方です。来年は笑顔で卒業出来るよう頑張っていきましょう！

都市・環境工学科　学科通信

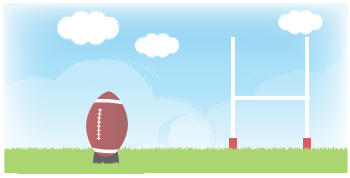
クラスで『ONE TEAM !』

都市・環境工学科長　田中　孝典

今年、アジア地域では初のラグビーワールドカップ2019が日本で開催されました。日本代表は予選リーグ４戦全勝で初のベスト8入りを果たす快挙を成し遂げたことに加え、ラグビーが持つ文化に多くの人が共感したと思います。日本代表は様々な国籍、文化、考え方を持つ選手達が『ONE TEAM』となって強豪国を破る姿には勇気と感動を覚えました。

ラグビーには、「品位」、「情熱」、「結束」、「規律」、「尊重」のスピリットがあるそうですが、こられは学校生活を過ごす学生の皆さんに共通するキーワードではないでしょうか。

同じクラスの仲間に対する理解、協力、思いやりをもって接して、クラス全員で『ONE TEAM』となり、複数で取り組む実験実習や学校行事（体育祭、球技大会、高専祭など）を通じて楽しい高専生活を送って欲しいと思っています。



やればできる！自分を信じよう

1C 担任　名木野 晴暢

昨年の４月に平成最後、令和最初の新入生を受け入れてもうすぐ１年が経とうとしています。入学して最初の担任が口うるさく、とても面倒で大変だったと思います。私が16歳だったらこんなにウザい担任は“no thank you !”です。それでもみなさんは、よくついてきてくれました。本当に感謝しています。生徒から“学生”へ日に日に成長するみなさんを一番近くで見ることができ、とても充実した一年でした。

今年度の担任の任務を終えるにあたり、みなさんに次の言葉を送ります。

“He can who thinks he can, and he can't who thinks he can't. This is an inexorable, indisputable law.（できると思えばできる、できないと思えばできない。これは、ゆるぎない絶対的な法則である。）”

Pablo Picasso（1881-1973, Spain）

自分の発した言葉には“言霊”が宿り、それは自分に返ってくることが多いと思います。自分の発する言葉を大切にしてください。みなさんには、無限の可能性があります。学習面に限らず、何事に対しても“やればできる！”と強く思い、自分を信じて色々な事に挑戦することで、“経験”という財産を積み上げていくことを期待しています。

令和２年ですね

2C 担任　池田　昌弘

２年生にとって今年は高専に入学してから３年目に突入し、令和の世はもう２年目を迎えています。時が過ぎるのは本当に早いです。今年は18歳を迎える学生もいるので人生の中での節目の一年になると思います。具体的な目標をもち、それを達成できるよう努力していくのがよいかと思います。

今、私は『立ち上がれ日本人』という本を読んでいます。この本はマレーシア首相であるマハティール・モハマド氏が国策として掲げた東方政策（ルック・イースト政策；日本に学べ）にまつわる話が書かれています。混迷の最中にある日本が今後どのような立ち位置にあるべきかを教えてくれます。また、日本人としての誇りとアジア人のアイデンティティにも気付かされる本です。地頭で考えることがいかに大切かも説かれている本なので、よければ学生諸君も読んでみてください。共に、令和２年を駆け抜けよう！

踏み出せ一歩、掴め未来

3C 担任　工藤　宗治

令和２年は世界最大のスポーツの祭典、東京2020オリンピック・パラリンピックが７月～９月に行われます。この東京オリンピック日本代表の有力候補に、皆さんと同年齢18歳の選手がいます。サッカーの久保建英選手です。

彼の活躍は皆さんもご存知だと思いますが、同い年が世界と戦っている事をどう思っていますか。

高専にいるとついつい「高専時間」で物事を考えてしまいがちですが、ほとんどの18歳は自分の進むべき方向を見つけ、動き始めています。久保君のように世界最高峰レベルで動いている人もいますが、皆自分のフィールドで、自分なりに自分の可能性を信じて動いています。皆さんも自分の可能性を信じて動き始めましょう。

この通信を手に取る頃には、佐々木君、奥川君達が、プロとして活動していますよ。

前進あるのみ

4C 担任　帆秋　利洋

私は、令和元年に生まれて初めて「担任」というものを受け持ち、記念すべき年となりました。担任は、４年生が対象であった為、春先から夏季休暇中のインターンシップに関わる企業等との各種折衝をはじめ、関東への二泊三日の秋季研修旅行の計画から訪問先との交渉など、様々な行事に纏わる段取りに追われ、多忙な一年でした。

一方で、巷で有名な「元気の良い４C」の学生諸君には、普段から随分と手を焼くこともありました。これらの経験は全て、私の今後の財産となっていく事でしょう。

来年度は、君たちの将来を大きく左右するであろう進路が決まります。進学する者、就職する者、もしかしたら留年する者、など様々でしょうが、いずれにしても、この一年間を含む過去は取り戻す事ができません。常に、前を見て「夢」を持って、精一杯元気に生きて行こう。

専攻科通信

第6回 大分高専・大分大学 合同研究発表会開催

令和元年12月17日（火）に大分大学旦野原キャンパスにて「テクノカフェ大分2019第６回高専・大学合同研究発表会～地域活性化と若手研究者の飛躍を目指して～」が開催されました。

本発表会は、大分産業人クラブ、大分大学理工学部、大分工業高等専門学校の三者主催で行われ、地場企業様と大学・高専の教員および学生が交流を深めました。大分高専専攻科および機械工学科、都市・環境工学科から11名、大分大学から19名が参加し、２分間のポスター概要講演と１時間のポスター発表を行いました。大分大学・大分高専の各校にそれぞれ最優秀賞１名と優秀賞数名が選ばれ、大分高専の最優秀賞は浦上なるみさん（1AMC）、優秀賞は片伯部拳磨君（1AMC）・新宮百恵さん（5C）でした。

来年度も、より多くの学生の積極的な参加を期待しています。

●外部発表一覧（平成31年１月から令和元年12月までに発表済みのものを掲載）

※第6回大分高専・大分大学合同研究発表会は第6回合同研究発表会と略しています。

機械・環境システム工学専攻1年

●有賀大吾：加圧噴出法を用いた粒子径の異なる紛体の流動性と付着性の評価、粉体工学会2019年度秋期研究発表会、令和元年10月 ●浦上なるみ：沖縄県内の赤土等流出抑制技術に用いる暗渠排水ろ過材の濁度低減効果に関する研究、第6回合同研究発表会、令和元年12月【最優秀賞】 ●片伯部拳磨：高圧下率圧延でメゾスコピック結晶化したバナジウム水素分離膜の創製、第29回日本MRS年次大会社会実装材料研究シンポジウム、令和元年11月、高圧下率圧延でメゾスコピック結晶化したバナジウム水素分離膜の創製、第6回合同研究発表会、令和元年12月【優秀賞】 ●佐藤光亮：フライアッシュベースジオポリマーの高温時の物性変化、第6回合同研究発表会、令和元年12月 ●佐藤千明：3軸マシニングセンタと5軸マシニングセンタでの潜像加工の比較、2019年度精密工学会佐世保地方講演会第20回学生研究発表会、令和元年12月 ●秦明弘：TiNコーティングのXRDによる酸化挙動の解明、第6回合同研究発表会、令和元年12月 ●仲町征将：フライアッシュベースのジオポリマーの表層劣化、第6回合同研究発表会、令和元年12月 ●西川創太：5軸マシニングセンタの回転軸角度誤差の測定に関する研究、2019年度精密工学会佐世保地方講演会第20回学生研究発表会、令和元年12月 ●村上彩音：鉄鋼スラグを用いた農業用ため池の堤体構築土の改良に関する研究、第6回合同研究発表会、令和元年12月

電気電子情報工学専攻1年

●伊藤将仁：深層学習を用いた植物部位の検出に関する研究、平成30年度（第9回）電気学会九州支部高専研究講演会、平成31年3月 ●後藤兼蔵：SiC製半導体スイッチを用いたインパルス電源の開発、平成30年度（第9回）電気学会九州支部高専研究講演会、平成31年3月、低インピーダンス負荷への印かを目的とした対容量インパルス電源の開発、第72回連合大会、電気・情報関係学会九州支部大会、令和元年9月 ●柴山信之介：高電界を用いたエアゾル中の病原細菌の不活性化効果に関する研究、平成30年度（第9回）電気学会九州支部高専研究講演会、平成31年3月、インパルス高電圧を用いたエアゾル中の微生物の凝集および滅菌に関する研究、第72回連合大会、電気・情報関係学会九州支部大会、令和元年9月 ●霜山大和：外部電源印加によるHEWL決勝の生成状態と印加周波数、平成30年度（第9回）電気学会九州支部高専研究講演会、平成31年3月 ●原尻駿吾：拡張DDAプログラムによる金属ナノ構造の光学シミュレーション、平成30年度（第9回）電気学会九州支部高専研究講演会、平成31年3月、光渦励起による金ナノディスクのLPR特性のDDAシミュレーション、令和元年6月、DDA simulation of localized plasmon resonance of a gold nanodisk excited by an optical vortex,The 38th JSST Annual International conference on Simulation Technology，令和元年11月

機械・環境システム工学専攻2年

●赤嶺大：円周切欠きを有するSCM435切削摩擦加工試験片の引張圧縮疲労強度、材料シンポジウム若手学生研究発表会、令和元年10月 ●秋月智也：大気エージング処理用製鋼スラグ山を模擬して作成した小型容器充填試料に対する加水操作がpH低減効果に及ぼす影響、平成30年度土木学会西部支部研究発表会、平成31年3月 ●麻生大樹：真砂土で構成された不飽和地盤への雨水浸透と塩分の除去、平成30年度土木学会西部支部研究発表会、平成31年3月【優秀講演者賞】 ●加藤大雅：S45C切削摩擦加工材のねじり疲労特性、材料シンポジウム若手学生研究発表会、令和元年10月 ●河野李奈：廃石膏ボード由来の再生石膏および再生石膏混合土の含水比測定に関する一考察、平成30年度土木学会西部支部研究発表会、平成31年３月【優秀講演者賞】 ●戸田健太：平板先端形状が境界層の形成過程に与える影響の実験と解析による比較、日本機械学会九州支部沖縄講演会、令和元年11月 ●友成巧：管路内に生成する気泡径と流量制御、第6回合同研究発表会、令和元年12月 ●長岡拓哉：微小高調波外力を受ける強制摩擦振動系に関する実験的研究、日本機械学会九州支部沖縄講演会、令和元年11月 ●藤原怜司:フライアッシュと高炉スラグ微粉末を併用するジオポリマーの吸水膨張特性、平成30年度土木学会西部支部研究発表会、平成31年3月 ●本田信也：高吸水性ポリマーの添加率ならびに粒径とコンクリートの耐凍害性の関係、平成30年度土木学会西部支部研究発表会、平成31年3月 ●吉田淳一郎：V系水素分離膜デバイスの応力解析と構造設計、おおいた産学官交流シンポジウム、令和元年11月

電気電子情報工学専攻2年

●井上敦暉：NIRSを用いた前額部脳血流動態によるオフライン集中度計測、火の国情報シンポジウム、平成31年3月 ●小幡昭平：Effect on Applied AC Electric Field with Low Frequency and Low Intensity on the Size and the Amount of Generated HEWL Crystal、UTP-KOSEN ISIE 2019、平成31年3月【ベストプレゼンテーション高専第2位表彰】 ●工藤拓歩：MASを用いた小規模コミュニティの電力消費量予測に関する研究、おおいた産学官交流合同シンポジウム、令和元年11月【ポスターセッション2位表彰】、MASを用いた小規模コミュニティの電力消費量予測に関する研究、第21回日本知能情報ファジィ学会九州支部学術講演会、令和元年11月 ●佐藤貴一:Research on Automatic Proof of HOL by Machine Learning Using Graph,UTP-KOSEN ISIE 2019、平成31年3月 ●戸田葵：sEMGによる食事動作の解析、第6回合同研究発表会、令和元年12月 ●渡邊優樹：形式仕様記述言語AlloyからのC#コード生成、第6回合同研究発表会、令和元年12月

各種報告

高専ロボコン2019（全国大会）

今年は「らん♪RUN Laundry」（らん・ラン・ランドリー）という洗濯物干しの競技でした。自動ロボットを含む２台のロボットを使い、シャツ、バスタオル、シーツを物干し竿にかけていく競技です。大分高専Aチーム「令和さるかに合戦」が地区大会デザイン賞を受賞し、２年ぶり10回目の全国大会出場を決めました。全国大会１試合目は苫小牧高専に13－１で勝利。部員が染めた「さるかに合戦」のシーツがきれいに広がりました。２試合目は香川高専詫間キャンパスとの戦い。大分、詫間とも20点満点を出し、審査員判定となりました。大分高専は「乾きやすさ」を重視し、シーツを竿の片側に寄せて干していました。全国でも大分高専しかしていないこの干し方が評価され、審査員判定で勝利しました。これでベスト８進出。第３試合は準々決勝でしたが、ロボットの不調もあり、産業技術高専品川キャンパスに２－14で負けました。今大会の優勝校は、敗者復活で勝ち上がった香川高専詫間キャンパスでした。毎年思いますが、良いロボットが出来ても、それを何回も同じように動かすことの難しさを今年も痛感しました。ロボット研究部一同、来年度に向けてより安定感のあるロボットを作れるよう努力してまいります。応援・ご支援いただきました皆様、来年度もロボット研究部をどうぞよろしくお願いいたします。

【全国大会メンバー】
高橋慶多（4E）、今泉駿（2E）、
池田圭佑（5M）

【全国大会ピット】
執行晃（4M）、秦勘太（4E）、
多田圭佑（3M）、後藤志勇（3E）、
川野陽介（3S）

全国高等専門学校 第56回 九州高専ラグビー大会

「復活の足掛かりか」

今年のラグビー高専大会は、11月９日から鹿児島県立サッカー・ラグビー場で行われました。大分高専は７人制の部の出場です。１回戦は久留米高専です。大分は人数不足のため準決勝進出が無いので、大方の予想は久留米の大勝と思われていましたが、試合開始から大分のペースで試合は進み、前半３分と５分に後藤と栗山のトライ（G）で前半12-0、後半相手の反撃に遭いましたが１トライにとどめ、12-5で勝利しました。相手が次の試合の為メンバーを落としたこともあるでしょうが、今大会15人制優勝のチームから勝利をつかんだことは、１年間頑張った部員の証となりました。これを復活への狼煙を挙げるきっかけになるように、これからも少人数ながら頑張ります。

【選手】後藤陽登（5C）、中野航輔（5E）、栗山和大（4M）、小野昂志（4E）、岡林大和（3M）、矢野誠人（3M）、五十川大和（1C）

全国高等専門学校 第30回 プログラミングコンテスト

今年度の高専プロコンは、10月13日（日）から14日（月）にかけて、都城高専を主管校として都城市総合文化ホールで開催されました。電子計算機部は、3名（1チーム）が競技部門に出場しました。今年の競技内容は、マス目に区切られたフィールド上で、いかに多くの陣地を占有できるかを競う陣取りゲームです。昨年度と違って、今年度は競技中に人間の判断を介入させる時間がほとんどなく、持ち込んだプログラムの優劣のみによって勝敗が決まるルールとなりました。

初日の予行演習では、大分は２勝１敗と順調な滑り出しをみせましたが、続くファーストステージでは、阿南、鈴鹿、大島商船にいずれも敗れ、翌日の敗者復活戦にまわることとなりました。敗因は、プログラムで用いた評価関数の差であろうと分析しています。

二日目の敗者復活戦では、佐世保に対しては勝利したものの津山に敗れ、ここで大分は敗退となってしまいました。おそらく前日の夜に修正したプログラムにミスがあり、想定どおりに動かなかったものと思われます。

今年度は残念な結果となりましたが、低学年のメンバーで他校の高学年生を相手によく健闘したと思います。応援ありがとうございました。

【出場メンバー】小野稜太（3S）、田中志貴（3S）、岩本拓己（2S）

第24回 西日本地区 高専駅伝競走大会

2019年12月26日に山口きらら博記念公園にて、14高専が集まり、７区間（42.195km）の駅伝大会が行われました。最長の10kmを唯一の５年生宿野（5M）が快走して区間５位といい流れを作ってくれました。主将の栗（4S）が５区で一時４位に浮上しましたが、結局7位という結果でした。今年は大会直前にケガや体調不良になる選手が続出して、大会出場も危ぶまれた中では、みな全力を出し切ったと思います。今年で最後になる岩田も素晴らしい走りをしてくれました。

【選手】１区（10km）宿野圭佑（5M）
２区（3km）矢野稜之（2C）
３区（8km）岩田隆正（2MC）
４区（3km）染矢一樹（2M）
５区（8km）栗　誠哉（4S）
６区（5km）田尻隼人（2E）
７区（5.195km）吉田圭吾（4E）

学生会便り

2019 高専祭

高専祭実行委員長

都市・環境工学科
5年　森山　甫

2019年も学生会活動へのご協力ありがとうございました。2019年の高専祭のテーマ「On line」には、インターネットだけではなく、周りの友達、先生方、地域の皆様ともっともっとつながっていこう、という願いが込められています。これからの時代、コミュニケーション能力や人とつながる力はもっともっと大切になっていくと思います。その過程の一助になることができれば幸いです。

さて、大分高専は学生の自主性がその強みだと思います。規則が増え息苦しさを感じる学生も多くなっていると思いますが、その困難をどう乗り越えるかが我々大分高専の自主性と自律性に懸かっています。

私事ですが、明野寮を退寮処分となりました。また、2019年12月20日現在未だに追認試験を４つ、再試験を２つ抱えています。つまり、私には自主性も自律性もなかったのです。

皆さんにはそのような事にはならない様、限られた中で楽しく有意義な学生生活を送っていってほしいと思います。

最後になりましたが、常日頃からご支援いただいている地域の皆様、常に丁寧にご指導いただきました学生主事室を始めとする諸先生方、無理なお願いにも常に完璧に対応してくださった学生支援係を始めとする職員の皆様、そして何より高専祭を楽しんでくださった学生諸君に心から御礼申し上げます。

みなさまのおかげで高専祭が成功をおさめることができました。

2019 音楽祭

音楽祭実行委員長

機械工学科
5年　古賀　千華

11月3日(日)の文化の日に第53回音楽祭が第一体育館にて開催されました。会場では、吹奏楽部･軽音楽部による演奏、写真部･書道部･美術部による作品や高専アーカイブの展示が行われました。本校の関係者のみならず、地域住民の皆様など多くの方々にご来場頂きまして、誠に嬉しい限りです。

今年のステージ演奏は、吹奏楽部はダンスを交えたパフォーマンス演奏、軽音楽部はツインドラムを用いた迫力のある演奏など、新しい取り組みで演者もお客様も一体となって楽しめたと思います。また、昨年同様の段差を付けたステージの増設と会場の華やかさを増す為に装飾を施し、体育館ながらも立派な会場に出来たと思います。

また、運営を行う学生会役員も学校開催のノウハウを年々身につけ、スムーズな転換や高度な技術での照明による演出はもちろん、明るく迎えてくれる受付や雰囲気作りをしてくれる司会など、それぞれの担当業務を全うして音楽祭を支えてくれました。

たくさんの方々のご協力を元に第53回音楽祭が成功できたことをこの場を借りてお礼申し上げます。

来年は念願のホルトホール開催となりますので、運営･演者一同、更に力を入れて素晴らしい音楽祭を創り上げていきます。これからも音楽祭が三大祭の一つとして盛況していくことを願っています。

学生会便り

新学生会長挨拶

学生会長

都市・環境工学科
4年　佐藤　春輝

21世紀少年初の会長、佐藤春輝です。寒さの中にも少しずつ春の足音が聞こえてくる季節となりました、皆様いかがお過ごしでしょうか。

副会長就任は１年以上前の出来事だったのかとしみじみ感じさせられました。

昨年は僕も右の小手川君のように右も左もわからない副会長だったわけですが、１年間を通して前会長の森氏に在り方を教わり人として成長することができました。こうした教わって教えるというサイクルは社会に出て確実に必要な流れであり、止まってしまうと後々にも大きく響いていくわけです。

学生会の仲間たちとともに協力して革新的なことを起こす１年にします。

頑張ろう2020。

新副会長挨拶

副会長

情報工学科
3年　小手川康太

皆さんこんにちは、この度新たに大分高専の副会長になりました、情報工学科三年の小手川康太です。

私は18年間司会や行事の運営に携わるような活動は一切したことがなく小学校では保健係、中学校では数学連絡係、そんな自分を変えたくて私は副会長に立候補しました。今こうして副会長になり自分を変えるチャンスを掴むことができたのは皆さんのおかげですので来年度はこのチャンスを無駄にしないように自分自身を飛躍させるとともに、チャンスを与えてくださった皆さんに恩返しができるような一年にしたいと思っています。

副会長の業務で最も大きいのはやはり高専祭前夜祭の司会だと思います。

高専祭がある10月まで残り７か月。最近よくこんな妄想をしています。今はまだまだ未熟な私ですが残りの７か月の間に先輩方から沢山の良い部分を盗みつつ自分にしかできないような司会をして高専祭前夜祭を成功させて、小手川くんを副会長にして正解だっだな！と誰かが思ってくれたらいいなぁ～、と。

そんな妄想を現実にするためには、まずは自分のことを知ってもらうことが大事だと思っています。知らない人の話って聞いててあまり入ってこないじゃないですか。なので名前くらいは覚えて頂けるように頑張りたいです。また、それと同じくらい私が学校のことや学生のことを知ることも大事だと思います。人見知りなので知らない学生に僕は質問なんてできません。それじゃ司会が成り立たないことは知っているので学校では沢山話しかけてほしいです。

それだけではなく当日はスケジュールや喋ることを完全に頭に入れて司会をする必要があり、さらに大変なのは当日だけじゃなく、高専祭の準備は5月には始まるということも先輩から聞きました。企画、運営、司会、すべて私にとっては初めてのことです。とても不安だしすでにドキドキしていますが同じくらいワクワクしています。

皆さんから頂いたこの副会長というチャンス、歴代の先輩方から受け継いだバトン、すべて良い方向に繋げられるように精一杯頑張りますので温かく見守ってほしいと思います。

改めて皆さん1年間よろしくお願いします。

寮生会便り

令和元年度後期 明野寮行事予定

【9月】
- 23日(月) 開寮
- 寮生役員定例会
- 寮生全体集会
- 24日(火) 登校日

【10月】
- 8日(火) 寮内講演会
- 17日(木) 体育祭
- 23日(水) 後期寮生総会

【11月】
- 9日(土) 保護者会
- 14日(木) 寮内講演会
- 寮生役員定例会

【12月】
- 18日(水) 学寮バレーボール大会
- 20日(金) 寮祭準備
- 21日(土) 寮祭
- 24日(火) 閉寮

【1月】
- 5日(日) 開寮
- 寮生役員定例会
- 寮生全体集会

【2月】
- 7日(金) 卒業生退寮前ミーティング
- 在寮生部屋移動説明会
- 21日(金) 終業式
- 第一次閉寮
- 27日(木) 最終閉寮

【3月】
- 18日(水) 卒業式

令和２年度

【4月】
- 2日(木) 開寮
- 寮生全体集会
- 寮生役員定例会
- 3日(金) 入学式・入寮式
- 6日(月) 始業式

寮生会長挨拶

電気電子工学科　４年
吉田　圭吾

寮生会長の吉田圭吾です。

気がつけば2019年も終わり2020年がやってきて、今年度も終わりが近づいてまいりました。

2019年12月には寮生バレーボール大会があり、教員チームや女子チームの参加もあり、とても盛り上がりました。

同じく12月に行われた寮最大の行事である寮祭は各寮、とても良い企画を用意しており、年々全体のレベルが上がっているように感じました。来年も期待してます。

しかし、ポイント制が猛威をふるっているのか、今年度は停寮者が増えています。ポイントを減らせる奉仕作業等もあるためもっと寮生にはこれを活用したり寮務主事室の先生方に交渉してみたりして1人でも停寮者が減るよう心がけていただきたいです。

また、寮では今、アンピック(携帯アプリ)という新しいシステムの導入をしています。しかし、これも普及率があまり良くないです。奉仕活動の情報等を手に入れたりできるのでぜひ寮生はダウンロードをお願いします。

今年の目標としましては、個人はもっと集会で良い話ができるようになること。寮全体としては挨拶の徹底と停寮者の減少です。

とりあえず、任期もだんだんと短くなってきたので次の佐藤快成くんに繋げれるよう頑張っていこうかなーと思います。

寮生副会長挨拶

都市・環境工学科　３年
佐藤　快成

こんにちは。副寮生会長になってから数ヶ月が経ちました。これと言ってこの数ヶ月で何かしたというわけでもありませんが、定期的にある寮総会などで前に出ることが増えてきたので少しずつ役職を実感しています。

12月に行われた寮祭では４年生をまとめ、下の学年なども動かして素晴らしい寮祭を完成させていた会長を見て、来年の自分と照らし合わせていました。自分も来年はもっと感動を与えみんなが楽しめるような寮祭を他の３年生たちと作れたらいいなと思います。

自分が１年の時に比べたらどんどん寮が快適になってきたと思います。寮生会を中心によりよい寮生活の環境を作っていきたいです！

留学生通信

自分をつくる

情報工学科　４年　バチュカ

皆さんは引きこもりになったことがありますか。皆さんの周りに引きこもりはいませんか。実は、わたしは、もしかしたら自分は引きこもりかもしれないと思うことが時々あります。家から出たくないとか、人と会いたくないことがあるからです。そんな自分は好きじゃないです。どうすればいいか、いろいろ考えるうちに、さっそく旅に出るようになりました。

どうして旅に出ているの、引きこもり生活とどう違うの、その理由を考えてみました。例えば、わたしは普段甘いものを食べませんが、旅に出るときいろいろな変なお菓子やアイスクリームを食べます。それから普段、休みの日はあまり出かけませんが、旅に出るとたくさん出かけて疲れてしまいます。つまり、旅に出るといつもと違うことにチャレンジしていることに気がつきました。それから、他の人たちの生活や他の人たちがどう生きているのかをみて、その生活に体験するのは面白いです。

去年の夏休み中、わたしはベトナムに一週間行ってきました。そこで水上村落を訪れました。水上村落というのは、海の上に浮く家を建てて、人たちがすんでいる場所のことです。その人たちをみて「へーそう生活する人もいるんだ」と驚きました。それから、昔戦場があったところと訪れたり、いつも忙しい交通にバイクに乗れたりしました。つまり、旅に出ると自分の中の常識、当たり前が壊されていきました。

そして全然知らない場所にいると、自分自身を客観的に見ることができるような気がします。いつもの生活に戻った時に何をすべきか、何を大切にしていけばよいか、といったことを考えるようになりました。

日本の留学生生活もそのような大きな旅だと思っています。

不明確な目的

電気電子工学科　３年　ノン

私はカンボジアから来た留学生です。今まで日本でほぼ２年間すごしましたが、日本の生活にもなれてきました。

皆さんは将来何に成功したいか目的を持っていますか。目的は誰でも必ず持つものだと言われています。目的がなければ、出世できないとう諺もあります。しかし、まだ将来何をしたいか、目的を持っていない人が多いとわかります。例えば、もしクラスで学生たちに将来何になりたいかと聞いたら“まだきめていない”と答える学生がいるはずです。私もそういう学生です。

私の過去から見ると、高校を卒業してからはどんな専門を勉強したかもわからなかったのです。しかし、自分は理系のほうが好きだとわかるから、工学部に入りました。それから、大学生になって留学するための奨学金の情報を手に入れました。そのとき、大学で良い成績を目指して勉強するか留学の試験に向け勉強するか迷っていました。実は留学したいと自分もわかりましたが、合格できる自信がそんなに多くなかったので、大学での勉強の方に集中して余裕時間がある時だけ日本へ留学準備をしました。合格できるという期待をあまりせずにその試験を受けましたが、自分の少し準備した勉強と大学で詳しく習った数学と物理をよく理解したので、筆記試験がよくできました。それから、面接を受けて必要な書類を日本の大使館に提出してから最終の結果を待つまででした。予想以上最終の結果で私が合格できて、うれしい限りでした。

すなわち、自分が何を成し遂げたいかそういう明確な目的があるのは重要だと言えますが、それが無ければ自分に向いている機会をチャレンジしてほしいと思います。目的がなくても努力を続ければ期待しなくてもある機会を成し遂げることができるはずです。

マレーシア

都市・環境工学科　３年　ジュン

私はマレーシアから来ました。マレーシアには、どんなイメージをお持ちでしょうか。おいしい食べ物や文化についてあまり知らない人も多いと思います。今回の記事では、マレーシアの文化について少しご紹介します。

マレーシアは、東南アジア、マレー半島南部とボルネオ島北部を占める連邦立憲君主国家です。また人口の65％を占めるマレー系、20％を占める中華系、10％を占めるインド系の他、30以上の民族が暮らす多民族国家です。しかし、民族間の対立が表面化せず、多様な文化が同時に存在しているところが、マレーシアの魅力です。公用語は、マレー語の他に、英語、中国語で、小学校からマレー語と英語の学習が義務付けられています。マレーシアは「グルメ王国」と言われています。なぜでしょう？さまざまな民族が暮らすマレーシアでは、それぞれの民族固有の料理とともに、お互いに影響を与えながら、融合した料理が食べられます。マレー料理、インド料理、中国料理の他に、マレー料理と中国料理が融合したニョニャ料理もあります。マレーシアの代表的な料理のその一つはマレーシアの国民食といわれているココナッツミルクで米を炊く「ナレシマ」です。マレーシアの年間平均気温は27℃、一年を通じて夏です。主な宗教はイスラム教で、首都であるクアラルンプールにも多くのモスクを見ることができます。他にも仏教、ヒンドゥー教など様々な宗教があります。

日本人から見ると少々驚きですが、マレーシアには地震や台風といった自然災害はありません。あるとしたら洪水くらいでしょうか。治安は安定しており良いと言えるから、安心して旅行できます。驚きに満ちた完璧な休日、折衷文化、舌がとろけそうな美食を食べたいなら、マレーシアです。もし機会があったら、ぜひマレーシアにきてください。

令和元年度　学科別進路状況

令和2年2月20日現在

番号	就職および進学先	学科名 M	E	S	C	計
1	㈱アイエステー				1	1
2	旭化成㈱	2				2
3	㈱アジケ			1		1
4	味の素食品㈱	1				1
5	出光興産㈱		1	1		2
6	エスアイエス・テクノサービス㈱			1		1
7	NECフィールディング㈱			1		1
8	NTTインフラネット㈱				1	1
9	NTTコム ソリューションズ㈱			1		1
10	㈱エム・ソフト			1		1
11	大分キヤノン㈱	1				1
12	大分県				1	1
13	大分県土地改良事業団体連合会				1	1
14	大分市役所				2	2
15	オークマ㈱	1				1
16	大阪ガス㈱				1	1
17	㈱大阪防水建設社				1	1
18	奥地建産㈱				1	1
19	㈱オリエンタルコンサルタンツ				1	1
20	オリエンタル白石㈱				1	1
21	㈱カネカ	1				1
22	川崎重工業㈱モーターサイクル&エンジンカンパニー		1			1
23	キヤノン㈱		1			1
24	キヤノンシステムアンドサポート㈱	1				1
25	キヤノンメディカルシステムズ㈱大分支店		1			1
26	九州電力㈱				1	1
27	キュウセツAQUA㈱		1			1
28	㈱京製メック	1				1
29	京セラ㈱　鹿児島国分工場		1			1
30	グローブライド㈱		1			1
31	KMバイオロジクス㈱	1				1
32	コニカミノルタジャパン㈱		1			1
33	㈱ザイマックスアルファ		1			1
34	㈱ サザンテック				1	1
35	サントリースピリッツ㈱	1				1
36	㈱CTIグランドプラニング				1	1
37	ジェイアール西日本コンサルタンツ㈱				1	1
38	JXTGエネルギー㈱中央技術研究所	1				1
39	JXTGエネルギー㈱堺製油所		1			1
40	JFEシビル㈱				1	1
41	㈱JALエンジニアリング	1				1
42	㈱スリーエイ・システム			1		1
43	ダイキン工業㈱	1				1
44	ダイキンエアテクノ㈱	1				1
45	㈱タカギ	1				1
46	竹田設計工業㈱	1	1			2
47	DMG森精機㈱	1	1			2
48	テルモ㈱	1				1
49	東急建設㈱				1	1
50	東京エレクトロン㈱		1			1
51	㈱東豊開発コンサルタント				1	1
52	東レ㈱	1				1
53	㈱ニコン	1				1
54	西日本電線㈱	1				1
55	西日本旅客鉄道㈱				1	1
56	㈱日建技術コンサルタント				1	1
57	㈱日建コンサルタント				1	1
58	日信電子サービス㈱		1			1
59	日鉄環境㈱				1	1
60	日鉄テックスエンジ㈱				2	2
61	日鉄パイプライン&エンジニアリング㈱				1	1
62	日本トーカンパッケージ㈱	1				1
63	パナソニック㈱アプライアンス社	1				1
64	浜松ホトニクス㈱		1			1
65	万里設備㈱				1	1
66	㈱ビーネックスソリューションズ		1			1
67	㈱日立情報通信エンジニアリング			1		1
68	㈱日立プラントサービス				1	1
69	ファナック㈱	1	1			2
70	フォスター電機㈱	1				1
71	㈱富士設計				1	1
72	富士ソフト㈱			1		1
73	㈱富士通エフサス			1		1
74	㈱富士通九州システムズ			1		1
75	富士フイルムメディカル㈱	1				1
76	本田技研工業㈱			1		1
77	㈱松本義肢製作所	1				1
78	三菱ケミカルエンジニアリング㈱		1			1
79	三菱電機ビルテクノサービス㈱		1			1
80	三菱日立パワーシステムズ㈱	1				1
81	㈱明電舎		1			1
82	㈱メンバーズ			1		1
83	モラブ阪神工業㈱			1		1
84	矢崎総業㈱		1			1
85	㈱安川電機	1	1			2
86	レイズネクスト㈱	1				1
	就　職　者　小　計	30	22	14	28	94
1	大分工業高等専門学校	10	5	8	5	28
2	北九州工業高等専門学校			1		1
3	大阪大学			1		1
4	香川大学			1		1
5	北九州市立大学			1		1
6	九州工業大学			3		3
7	九州大学				1	1
8	京都工芸繊維大学			1		1
9	熊本大学		1		1	2
10	信州大学			1		1
11	東京農工大学			1		1
12	豊橋技術科学大学		1	1		2
13	北海道大学				1	1
14	山口大学			2	1	3
15	横浜国立大学			1		1
16	琉球大学			1	2	3
	進　学　者　小　計	10	7	23	11	51
	未　定	1	3	1	0	5
	小　計	1	3	1	0	5
	卒業予定者計	41	32	38	39	150

M：機械工学科　E：電気電子工学科
S：情報工学科　C：都市・環境工学科

令和元年度　専攻科進路状況

令和2年2月20日現在

第16期：令和元年度（2019年）　修了予定者（29人）　嶋田専攻科長

機械・環境システム工学専攻（17人）

九州大学大学院　総合理工学府　先端エネルギー理工学専攻
九州大学大学院　総合理工学府　大気海洋環境システム学専攻
九州大学大学院　総合理工学府　物質理工学専攻（３名）
岩谷瓦斯株式会社
大分県（２名）
大分市
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
JXエンジニアリング株式会社
住友化学株式会社
太平洋セメント株式会社
東京エレクトロン株式会社
西日本コンサルタント株式会社
株式会社日本ピーエス
三菱電機株式会社通信機製作所

電気電子情報工学専攻（12人）

九州工業大学　大学院　生命体工学研究科　人間知能システム工学専攻
九州大学大学院　総合理工学府　量子プロセス理工学専攻
筑波大学　大学院　システム情報工学研究科　知能機能システム専攻（2名）
電気通信大学　情報理工学研究科　情報・ネットワーク工学専攻
奈良先端科学技術大学院大学　先端科学技術研究科　情報科学領域
大分キヤノン株式会社
昭和電工株式会社大分コンビナート
株式会社Hacobu
パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社
株式会社ファインディックス
株式会社富士通九州システムズ